

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス 長府教室		
○保護者評価実施期間	R7年 10月 31日		～ R7年 12月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	R7年 11月 4日		～ R7年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境 ・死角の少ない広々としたスペースがあり、個々の取り組みに集中ができる環境が整備されています。 ・マット、トランポリン、鉄棒、ボールなどの運動器具がそろっており、身体を動かす活動環境が充実しています。	事業所内には死角の少ない広々としたスペースがあり、子どもたちが安心して過ごしながら、それぞれの取り組みに集中できる環境を整えています。また、マット、トランポリン、鉄棒、ボールなど、さまざまな運動器具をそろえることで、身体を動かす活動が充実するよう工夫しています。これらの環境を活かし、子どもたちが自分のペースで活動を選び、のびのびと取り組めるよう意識して支援しています。	今後は、広いスペースや運動器具をより効果的に活用できるよう、活動内容のバリエーションを増やしたり、子どもたちの興味に合わせた新しい運動遊びを取り入れたりすることを検討しています。また、安全面に配慮しながら、個々の発達段階に応じた運動の難易度調整や、達成感を得られる仕掛けづくりに取り組んでいきたいと考えています。環境をさらに活かし、子どもたちが安心して挑戦できる場を広がっていきます。
2	保育経験豊富な人材 ・現在在籍スタッフの半数以上が5年以上経験の保育士もしくは児童指導員です。	現在在籍しているスタッフの半数以上が、5年以上の経験を持つ保育士または児童指導員であり、専門性の高い支援ができる体制が整っています。経験豊富なスタッフが多いことで、子ども一人ひとりの特性や状況を丁寧に把握し、安心して過ごせる関わりを意識して行っています。また、日々の支援の中で職員同士が自然に情報共有を行い、より良い支援につなげられるよう工夫しています。	今後は、経験豊富なスタッフの強みをさらに活かすため、支援方法の共有や学び合いの機会を増やし、職員全体のスキル向上につなげていきたいと考えています。また、新しく入職したスタッフに対しても、先輩職員がサポートしやすい体制を整え、安心して支援に取り組める環境づくりを進めていきます。これにより、子どもたちに対してより一貫性のある、質の高い支援を提供できるよう努めていきます。
3	個別支援の充実 ・1時間と短い提供時間の中で、発達状況に合わせた完全個別の療育を集中的にしています。	提供時間が1時間と限られている中でも、子ども一人ひとりの発達状況に合わせた完全個別の療育を集中的に行うよう工夫しています。短い時間でも効果的な支援ができるよう、事前の準備や環境設定を丁寧に、子どもが落ち着いて取り組める流れを意識しています。また、個別の課題にしっかり向き合えるよう、スタッフが子どもの様子を細かく観察し、その日の状態に合わせて柔軟に支援内容を調整しています。	今後は、より丁寧で深い個別支援が行えるよう、提供時間の見直しや延長も視野に入れて検討していきたいと考えています。時間にゆとりを持たせることで、子どもが落ち着いて取り組める場面を増やし、達成感を得られる機会をさらに広げていきます。また、支援内容の質を高めるために教材の工夫や記録の充実、スタッフ間の情報共有を強化し、個別療育の効果がより高まるよう取り組んでいきます。保護者のニーズも伺いながら、安心して利用できる環境づくりを進めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・提供時間が10時から11時の1時間と短いので、長時間預かりのニーズにお応えできず、利用人数増加につながらないことです。	現在、提供時間が10時から11時の1時間と短いため、長時間の預かりを希望されるご家庭のニーズに十分お応えできていない状況があります。その結果、利用を検討されているご家庭にとって利用しづらさにつながり、利用人数の増加にも結びつきにくい状況であると考えています。また、提供時間の柔軟な設定について検討する機会が十分に持てていなかったことも、課題の一因になっていると捉えています。	ご家庭のニーズにより沿った支援を行うため、提供時間の見直しや延長の可能性について検討していきたいと考えています。例えば、午前中の提供時間を広げる、必要に応じて柔軟に対応できる時間帯を設けるなど、利用しやすい環境づくりを進めていきます。また、保護者の方々からご意見を伺いながら、実際のニーズに合った時間設定を検討し、より多くのご家庭が安心して利用できる体制を整えていきます。
2	・幼稚園や保育園との交流など地域の子どもたちと交流をする機会がなかったことです。	これまで、幼稚園や保育園との交流をはじめ、地域の子どもたちと関わる機会を十分に設けられていなかったため、事業所内の活動が中心となり、地域とのつながりを広げにくい状況がありました。地域の子どもたちと一緒に遊んだり活動したりする経験が少なかったことで、自然な交流や異年齢での関わりを持つ機会が限られていたと考えています。また、地域の団体や子どもが集まる場との連携を積極的に探し、働きかける取り組みが十分にできていなかったことも、交流機会が少なかった要因と捉えています。	地域の子どもたちとの関わりを広げるため、幼稚園や保育園に限らず、地域で子どもが集まるさまざまな場とつながりを持ち、交流の機会を増やしていきたいと考えています。例えば、地域の子ども会や自治会行事への参加、公園での合同遊び、地域ボランティア団体との活動など、参加しやすい形での交流を検討していきます。また、事業所からも積極的に情報収集や働きかけを行い、協力しやすい関係づくりを進めることで、子どもたちが自然な形で地域とつながれる環境を整えていきます。
3	・家族支援が、個別面談と資料配布のみとなっていたためより充実した家族支援が今後必要であると考えています。	家族支援の取り組みが個別面談と資料配布に限られていたため、ご家庭が学びや相談を深める機会が十分に確保できていない状況がありました。個別面談は一人ひとりに寄り添った支援として有効である一方で、家族全体で共有できる学びの場や、他の保護者と交流しながら情報を得られる機会が少なかったことが課題であると考えています。また、家族支援の方法を広げるための検討や準備が十分に行えていなかったことも、支援の充実につながらなかった要因と捉えています。	より充実した家族支援を行うため、個別面談や資料配布に加えて、保護者向けの研修や勉強会、交流の場など、多様な支援方法を取り入れていきたいと考えています。例えば、発達特性の理解や家庭での関わり方をテーマにした学びの場を設けたり、保護者同士が気軽に話し合える機会をつくったりすることを検討しています。また、オンラインでの参加や資料の共有など、参加しやすい方法も取り入れながら、ご家庭のニーズに合わせた支援を進めていきます。